

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2002-505345 (P2002-505345A)  
 【公表日】平成 14 年 2 月 19 日 (2002.2.19)  
 【出願番号】特願 2000-512883 (P2000-512883)  
 【国際特許分類】

**C 0 8 G 18/48 (2006.01)**

**C 0 8 J 9/14 (2006.01)**

C 0 8 L 75/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/48 F

C 0 8 J 9/14

C 0 8 L 75:04

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

硬質ポリウレタン又はウレタン化ポリイソシアヌレートフォームを調製する方法であって、水と、1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパン及びイソペンタン及びノ又は n - ペンタンとを含む物理的発泡剤混合物の存在中で、有機ポリイソシアネートを多官能基のイソシアネート反応性成分と反応させる工程を含み、1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンとイソ - 及びノ又は n - ペンタンとのモル比が 1 / 99 ないし 40 / 60 の範囲であることを特徴とする、前記調製方法。

【請求項 2】

前記 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンとイソ - 及びノ又は n - ペンタンとのモル比が、10 / 90 ないし 40 / 60 の範囲である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記物理的発泡剤混合物が、1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパン及びイソペンタンからなる、請求項 1 又は 2 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 4】

前記多官能基イソシアネート反応性組成物が、ポリエーテルポリオールを含む、請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記多官能基イソシアネート反応性組成物が、10 ないし 75 重量% (全イソシアネート反応性成分基準) の芳香族アミンを開始剤としたポリエーテルポリオールを含む、請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

前記芳香族アミンが、トリレンジアミン、ジアミノジフェニルメタン及びポリメチレンポリフェニレンポリアミンからなる群から選択される、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記水の量が、全イソシアネート反応性成分基準で 0.2 ないし 5 重量% の範囲である、請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

## 【請求項 8】

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項で定義した方法により得られる、硬質ポリウレタン又はウレタン化ポリイソシアヌレートフォーム。

## 【請求項 9】

多官能基イソシアネート反応性組成物であって、水と、1 ないし 40 モル%の 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパン及び 60 ないし 99 モル%のイソペンタン及び / 又は n - ペンタンを含む物理的発泡剤混合物、とを含む前記組成物。

## 【請求項 10】

前記 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタフルオロプロパンとイソ - 及び / 又は n - ペンタンとのモル比が、10 / 90 ないし 40 / 60 の範囲である、請求項 9 記載の多官能基イソシアネート反応性組成物。